

## 【復習】1 変数関数の極値の判定

定理 1.

- (i) 「 $f(x)$  が  $x = a$  で極値をとる」  $\implies f'(a) = 0$
- (ii)  $f'(a) = 0$  かつ  $\begin{cases} f''(a) < 0 \implies f(a) \text{ は極大値} \\ f''(a) > 0 \implies f(a) \text{ は極小値} \end{cases}$
- $f'(a) = 0$  かつ  $f''(a) = 0 \implies ?$

関数  $f(x)$  の極値を求める手順

- 導関数  $f'(x)$  を求める.
- 方程式  $f'(x) = 0$  の解を求める.
- 2 次導関数  $f''(x)$  を求める.
- (2) の解  $x = a$  の対し,  $f''(a)$  の符号を調べる;  
 $f''(a) < 0$  ならば極大,  $f''(a) > 0$  ならば極小,  $f''(a) = 0$  ならば?

クォータ科目「数学」第 6 回 (担当: 佐藤 弘康) 1/4

## 【参考】1 変数関数の極値の判定

定理.

- $f'(a) = f''(a) = \dots = f^{(2m-1)}(a) = 0$   
かつ  $\begin{cases} f^{(2m)}(a) < 0 \implies f(a) \text{ は極大値} \\ f^{(2m)}(a) > 0 \implies f(a) \text{ は極小値} \end{cases}$
- $f'(a) = f''(a) = \dots = f^{(2m)}(a) = 0$   
かつ  $f^{(2m+1)}(a) \neq 0 \implies f(a)$  は極値ではない

クォータ科目「数学」第 6 回 (担当: 佐藤 弘康) 2/4

## 【復習】2 変数関数の極値の判定

定理 2.

- [I] 「 $f(x, y)$  が点  $(a, b)$  で極値をとる」  $\implies f_x(a, b) = 0$  かつ  $f_y(a, b) = 0$
- [II]  $D(x, y) := \{f_{xy}(x, y)\}^2 - f_{xx}(x, y)f_{yy}(x, y)$  とおく.
- $f_x(a, b) = f_y(a, b) = 0$  かつ
- $D(a, b) < 0$  かつ  $\begin{cases} f_{xx}(a, b) < 0 \implies f(a, b) \text{ は極大値} \\ f_{xx}(a, b) > 0 \implies f(a, b) \text{ は極小値} \end{cases}$
  - $D(a, b) > 0$  のとき,  $f(a, b)$  は極値ではない.
  - $D(a, b) = 0$  のとき,  $f(a, b)$  が極値となるときも, そうならないときもある.

クォータ科目「数学」第 6 回 (担当: 佐藤 弘康) 3/4

## 2 変数関数 $f(x, y)$ の極値を求める手順

- (ステップ 1) 偏導関数  $f_x(x, y), f_y(x, y)$  を求める.
- (ステップ 2) 連立方程式  $\begin{cases} f_x(x, y) = 0 \\ f_y(x, y) = 0 \end{cases}$  の解を求める.
- (ステップ 3) 2 次偏導関数  $f_{xx}(x, y), f_{xy}(x, y), f_{yy}(x, y)$  を求める.
- (ステップ 4)  $D(x, y) = \{f_{xy}(x, y)\}^2 - f_{xx}(x, y)f_{yy}(x, y)$  を求める.
- (ステップ 5) (2) の解  $(x, y) = (a, b)$  の対し,  
 $D(a, b)$  と  $f_{xx}(a, b)$  の符号を調べる; (省略)

クォータ科目「数学」第 6 回 (担当: 佐藤 弘康) 4/4